

Assist

~ アシスト ~

名寄商工会議所

名寄市西3条南5丁目
TEL 01654-3-3155 FAX 01654-2-0571
URL http://hokkai.or.jp/nayocci/
E-mail nayocci@hokkai.or.jp

若い力でマチづくりを

木賀義晴会頭が抱負を語る

るところ
でござい
ます。

三期九周年名寄商工会議所の
会頭を務めてきましたが、今まで
の課題も多いうえになかなか思
うようにはいかず手一杯の九年
間でした。
特に昨年十二月に出店表明の
あった徳田地区大型店問題でマ
チは揺れに
揺れました。
名寄市もま
ちづくり三
法の改正の
意向に沿った新しい条例を制定
し、一万平方メートルを超える施
設の建設を制限し、大型店の出店
を阻止しようとしたが、残念
ながら条例施行前に着工、来春に
は徳田地域にまた一つ大型店が
出来ることとなってしまいました
た。名寄市内は中心市街地と郊外
に二つの大きな核が出
来ることになりました。
現在名寄市は消費も
人口も伸び悩んでいる
中、お互いに生き残っ
ていけるか大変危惧す

中心市街地活性化を重点課題に

思っております。
中心市街地地区に出店の意向
を表明されたコープさっぽろの
問題も、この計画づくりの中で整
理していきたいと思っております。
退任された田原・白木両副会頭
にはこれまでの協力に感謝をし
ておりますし、今回若い力が必要
と、黒田・真鍋
と、黒田・真鍋
両氏に副会頭
をお願いしま
した。名寄経済
の厳しさを乗
り切るために



木賀 義晴
名寄商工会議所 会頭



前田 和久
名寄商工会議所 副会頭



前田 和久
名寄商工会議所 副会頭

新副会頭紹介

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく
願います。

今後とも
名寄市の活
性化に力を
注いでいく
所存でござ
いますので、

委員会構成も決まる
このたびの議員改選に伴い、常
設委員会委員も改選され、次の通
りとなりました。

常設委員会名簿

総務委員会

- 梅野 博
- 田原 靖久
- 秋葉 清司
- 木原 敏法
- 吉田 次男
- 菅井 静夫
- 西條 久喜
- 森川 幸延
- 加藤 剛士
- 湯川 勇三

商業振興委員会

- 松前 聡仁
- 池田 聡
- 白鳥 晃
- 高見 省一
- 奥山 巨
- 品地 信一
- 中山 泰英
- 竹内 利行
- 桑原 裕敏

工業振興委員会

- 大野 茂実
- 白木 堅造
- 坂下 勇勝
- 榎山 秀明
- 山本 重存
- 倉澤 繁夫
- 東澤 光芳
- 黒川 光清
- 益子 峰行

労務厚生委員会

- 下田 剛弘
- 梯 津夫
- 西川 雄次
- 柴田 勝之
- 寺島 勝之
- 齊藤 修
- 藤田 健慈
- 猿谷 繁明
- 藤野 光弘
- 明石 欽弥
- 長谷川 良雄

運輸観光委員会

- 栗原 智博
- 五十嵐 正三
- 滝沢 照子
- 吉川 博己
- 大野 真一郎
- 副委員長

3つの機能で「にぎわい」を

中心市街地活性化 特別委員会が答申書提出

特別委員会は、名寄商工会議所が今年度、中心市街地活性化協議会設立に向けて準備中であり、市も庁内委員会を設置し、基本計画策定に向け作業に入っていることを受け、事前に商工業者の考えをまとめ、名寄市に提案する形で、早期に実現性の高い計画を目指すため設置されたものであります。

メニューより関連するものを検討しながら事業提案の取りまとめを行いました。

本委員会の審議は、「複合交流センター等の核施設の整備」、「街なか居住の促進」、「商業の活性化」の3つをテーマに、フリーディスカッションの形で各委員の意見を収集し、また同時に会議所青年部、商店街連合会、名大生レポートをはじめ各種調査での意見も参考としました。

3つのテーマの内、特に市への要望の核となる公共施設・行政施策は事前に事務局によって市の総合計画の中から「にぎわい創出」に有効な事業をピックアップしたものを中心に議論しましたが、これは、最も効果的で早期実現可能との判断によってのことです。

したがって、前回市総合計画の検証と新総合計画の事業

なります。

行政への提案事項

改正された中心市街地活性化法は、人口減少や少子・高齢化で、地域経済活動の縮小が懸念される中、地域経済の活力を維持していくには、より以上に、「拡散型」から「集約（コンパクト）型」街づくりの発想転換が必要とのことからの見直しになりました。

これは、中心市街地が商業機能のみならず、生活の場、コミュニティの形成の場などとしての果たすべき社会的・公共的役割がますます重要になると考えてのことです。

名寄市においても、新しい時代を見据え、社会情勢の変化を的確に捉えた新しいまちづくりのビジョンが必要とされています。よって、改正中心市街地活性化法施行をスタートに位置づけ、また、新名寄市総合計画と整合性を図りながら、

能をレイアウトしたコンパクトな中心部を目指し、「にぎわい」を取り戻す。

・中心部の機能が連動し、安心・快適な地域コミュニティを創造する。

以上を踏まえ、下記提案事項と致しました。

複合交流センターの設置

中心市街地活性化を図るために集客に充分な機能をもった公共施設は不可欠であり、早期実現が求められる。位置としては「名寄の顔」である「駅」周辺を適地とした。

機能として、「バスターミナル」

（公共交通の確保及び充実、デマンド交通を含む）

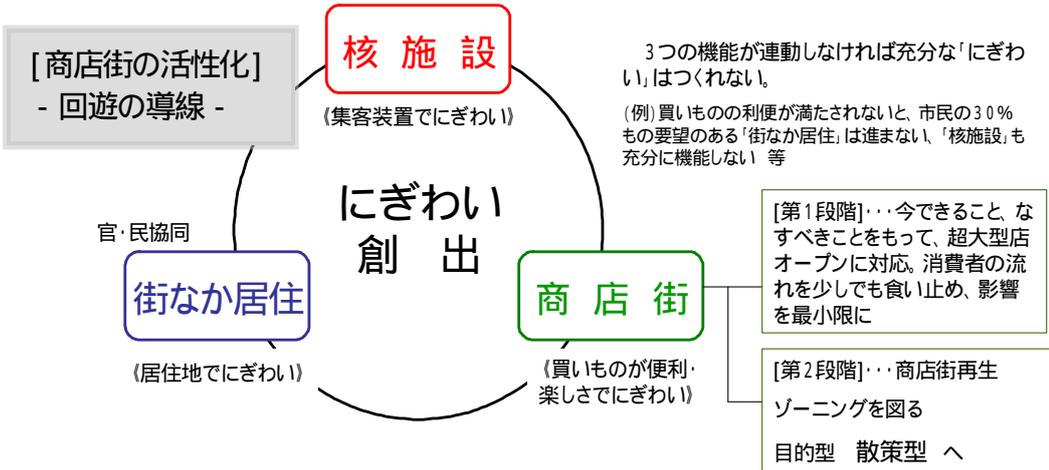
「行政サービス」

「図書館」
「子育て支援センター」

「ミニセン」(多目的ホール)「賑わいを高める民間施設(経済センター、健康施設等)」
商店街の活性化(図にて)

3つの機能が連動しなければ充分な「にぎわい」はつukれない。
(例) 買い物の利便が満たされないと、市民の30%もの要望のある「街なか居住」は進まない、「核施設」も十分に機能しない等

- [第1段階]・・・今できること、なすべきことをもって、超大型店オープンに対応、消費者の流れを少しでも食い止め、影響を最小限に
- [第2段階]・・・商店街再生ゾーニングを図る
目的型 散策型 へ



[商店街の活性化] - 回遊の導線 -

官・民協同
街なか居住
(居住地でにぎわい)

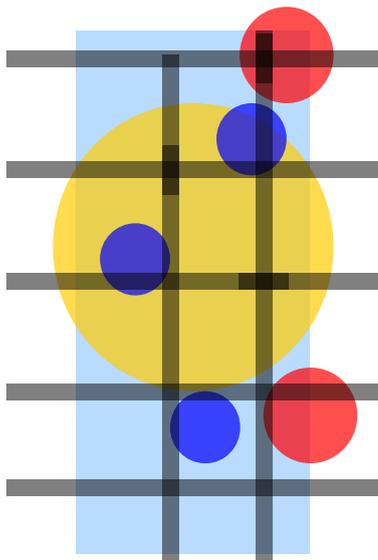
商店街
(買いものが便利・楽しさでにぎわい)

核施設
(集客装置でにぎわい)

にぎわい創出

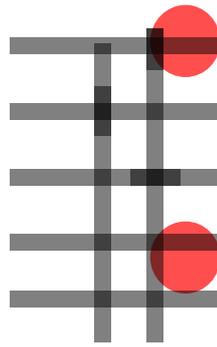
中心市街地再生マップ

街なか居住の促進
市営住宅の建設 民間住宅
の建設促進並びに借り上げ等
の促進助成制度



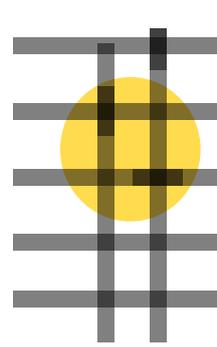
《全体図》

核施設の整備



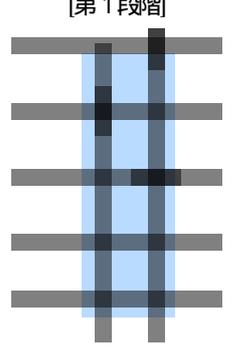
2つの核
(核施設と地元大型店)

街なか居住



市営・民間住宅
(核との距離を短縮)

商業の活性化

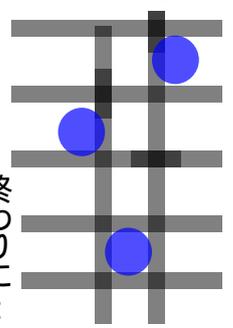


[第1段階]
ソフト事業の実施
(路上駐車場の拡大・地元大型店との連携・空店舗活用)

中心市街地活性化に向けて、会員皆様のご意見・ご提案をお聞きしております。

ご意見・ご提案はFAX・メールにて

[第2段階]



ハード事業の実施
(ゾーニングを図り特徴づくり)

終わりに……

市が中心市街地活性化に向けて動きだしている中、商業の活性化」プランは、遅々として進んでいない。商店街の各種意見を見ても、明年春オープン of 超大型店に関わる緊急の改善プランがほとんどであり、中活の計画に組み入れるにふさわしい事業が出てこないのが現状であります。委員会として、あるべき姿をプランとして提出すべきとの意見もあり、模索をしてみるも合意に至りませんでした。実施責任を持たない本委員会としては、受益者負担を伴う商店街のハード事業の立案には慎重にならざるを得ません。商店街は過去郊外大型店の出店影響や環境整備等近代化事業の過去の負債を抱えており、明年の超大型店のオープン控え、自店対応に迫われ商店街再生プランは出した

くとも出せないのが現状と思われる。仮に商店街の再編プランを設定したとしても、明年オープンの超大型店と2ヶ年～3ヶ年の空白期間があり、中心部がどのように変化していくのかは不透明であります。むしろその間出来る個々の改善努力をしつつ、その後の変化を見極めた後、再編プランを立てることがより具体性をもつものと思われれます。

したがいまして、「商店街の活性化」について本委員会としては、明年に向け、今できること、なすべきことに集中し、その影響を最小限に食い止めるための、緊急改善策の提案にとどめることとしました。

・ 駐車場対策：駐車場の充実
・ 路上駐車場の拡大商店街路上の停車帯設置と自主管理体制の確立
・ 地元大型店との連携・・・
・ 共同事業(イベント・売出し・広報)の実施
・ 空き店舗活用・・・チャレンジショップ、名大生のイベ

ントによる地域交流
・ その他・・・定休日の統一、
個店の環境整備 等々

以上、名寄のもつ特殊事情を考慮し商店街の大きな再編は、公共的施設としての「核施設」の整備と「街なか居住」の推進が先行することによって、その先行事業が起爆剤となり、自発的な個店活性化の動きに連動させ、適切なゾーニングを進めるべきと考えます。よって、先行すべき事業の早期取り組みを強く望むところです。

このような過程を経て、3つの機能が有効に機能してはじめて目的とする「にぎわい創出」、「新しいコミュニティの創出」を可能にするものと考えます。

最後に、本委員会としては早期に、市民等を巻き込んだ新しい議論の場(中心市街地活性化協議会等)に移行することが必要であること、商店街再編のための指導等、商工会議所の担うところは大きいことを付け加え報告いたします。

平成19年度調査事業報告

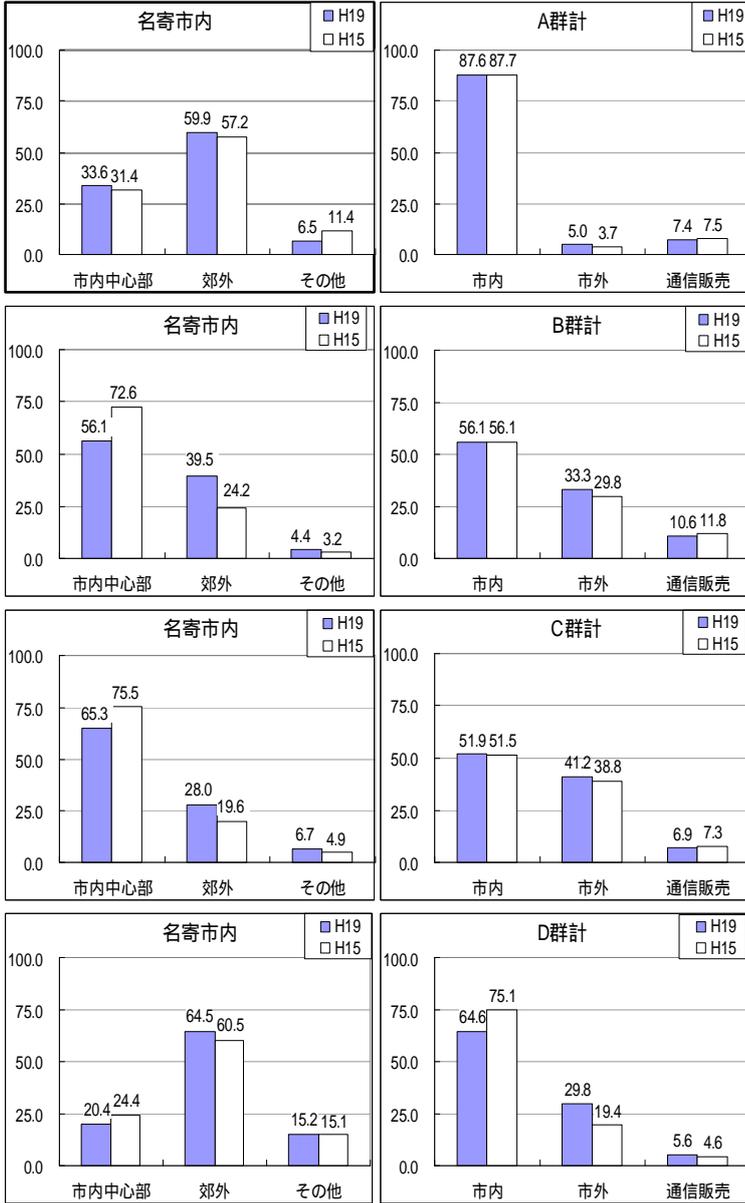
買物アンケート調査

市民の買い物

郊外が中心部を逆転

九月に、市内小・中学校・名寄高校の生徒の保護者、二十～五十代の市職員、名寄大生、ピヤシリ大学生ら一〇六八人に調査協力をいただき実施し、六二八人の回答、回収率五八・八%であった。

調査内容は、A群～F群の六品目に分け、「市内(商店・大型店・コンビニなど)・郊外(札幌・旭川など)・通販等ネット・通信販売・生協など」での買物利用割合を調査した。同調査は、和寒以北中川までの商工会議所・商工会合同で実施しており、平成十五年に同じ内容で調査を実施している為、「市内・市外・通販等」と市内「中心部・郊外・その他」の比較についての報告である。



A群 (肉魚・一般食品品目 用雑貨など)
A群計の「購入割合」では平成十五年と変化は無く市内が約八八%と大きな利用割合を示している。「市内の購入先」では、市内中心部で平成十五年よりは若干増えているが、郊外も若干増加しており、約六〇%が郊外を利用している。

B群 (寝具 紳士婦人服 子供 肌着など)
B群計の「購入割合」では、平成十五年と変化は無く市内が五六・一%、市外は若干増し通販が減少している。「市内の購入先」では、中心部で平成十五年七一・六%に比べ五六・一%と約十六%減少し、郊外の利用割合が増加している。平成十五年以降郊外に立地した「しまむら」「ユニクロ」の影響と思われる。

C群 (靴 カバンなど)
C群計の「購入割合」では、市内で平成十五年と大きな変化は無く、五一・九%、市外で四一・二%と平成十五年より若干増加している。「市内の購入先」では、中心部で六五・三%と大きな利用割合だが、平成十五年に七五・五%あった利用割合に比べ約一〇%減少しており、郊外の利用割合が二八%と平成十五年より増加している。

D群 (家具・電化製品など)
D群計の「購入割合」では、市内が六四・六%と大きな利用割合であるが、平成十五年に七五・一%あった利用割合に比べ約一〇%減少し、市外が二九・八%と平成十五年より増加している。価格・品揃えなどの充実した市外大型店へ流出していると考えられる。「市内の購入先」でも、中心部の利用が減少し、郊外の利用割合が増加している。

E群 (時計 薬 文房具など)
E群計の「購入割合」では、市内で七一・三%と大きな利用割合であるが、平成十五年より若干減少し、市外が二三・九%と平成十五年より増加している。「市内の購入先」では、中心部の利用が減少し、郊外の利用が増加している。

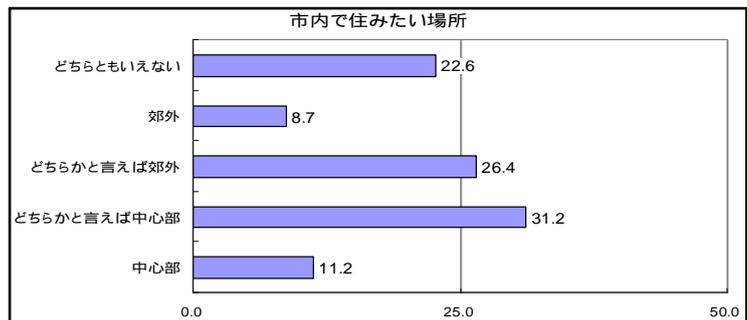
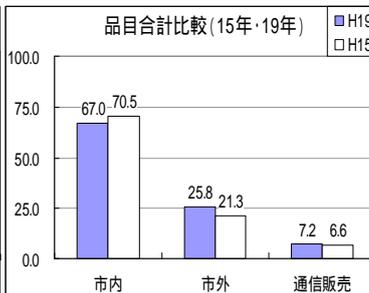
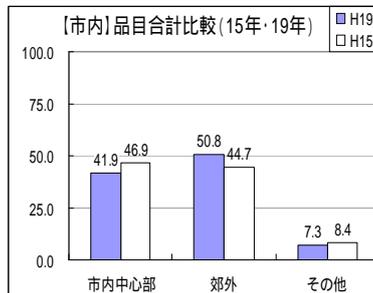
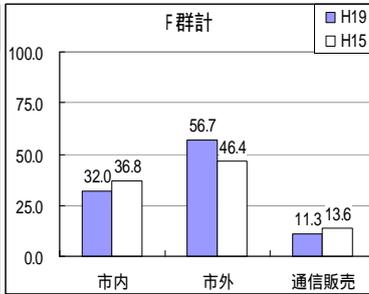
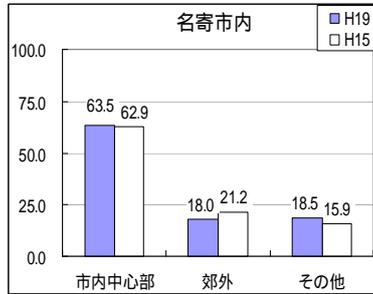
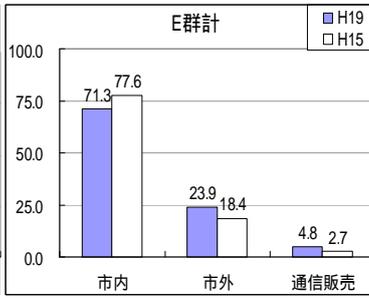
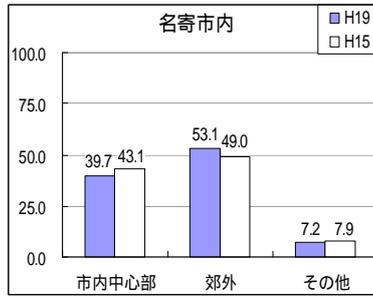
F群 (飲食など 楽しみ の場)
F群計の「購入割合」では、市外が五六・七%と半数以上が利用し平成十五年より約一〇%増加、平成十五年の土別

C～E群については、多様な商品を扱う郊外店の影響が大きいと考えられる。

142号 剣淵インターの開通による交通機関の利便性が考えられる。市内では、平成十五年より若干減少が見られる。「市内の購入先」では、中心部が六三・五%と大きな利用割合をしめ、郊外では若干ではあるが減少している。

Ａ～E群品目総計

品目総計の「購入割合」では、市内が六七%で平成十五年より若干減少し、市外が二五・八%と増加している。「市



内の購入先」では、中心部が四一・九%と減少し、郊外が五〇・八%と増加している。数年で郊外への利用割合が増加している中、来春郊外への大型店出店で、どのような状況になるかが懸念される。

市内中心部利用

「買物での利用」が七一・四%と一番多く、次に「金融機関の利用」「飲食」「病院・福祉」となり、消費者が市内中心部を買物で一番利用して

いる事は中心部のお店には活力の一つになると思われる。買物の時間帯 午前中の買物が二六・三%と一番多いが、消費者の動向としては十四時～二〇時の利用が六九%と午後から夕方にかけて買物をしている。

買物の重視

「価格」八一%、「品揃え」六三・五%と大きな割合を占め、ついで「一度で用が済む」「品質」「駐車場」となっている。

中心街に何が必要か

「品揃えの拡充」「駐車場・自転車置き場」「売出し等の開催」「接客サービス」となっている。

街中居住

街中居住の希望者増

市内で住みたい場所は？

「中心部」とどちらかと言えば「中心部」四一・四%、「郊外」とどちらかと言えば「郊外」三三・一%、「どちらともいえない」二二・六%と街中に住みたい方の割合が多いことがわかる。

なぜ街中がよいか？

「徒歩・自転車での買物が便利」が六一・五%と大きな割合を占めており、車での郊外・市外への動向が増加している中、市内中心部のお店には明るい声である。

なぜ郊外がよいか？

「生活に支障がない」「自然環境が良い」が大きな割合を占めている。

経営動向調査

七割が売上減 経営の高齢化 後継者対策が課題

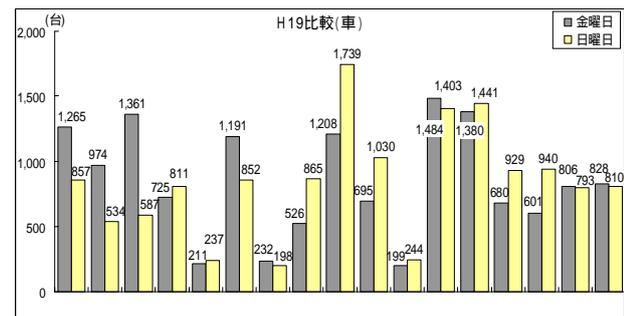
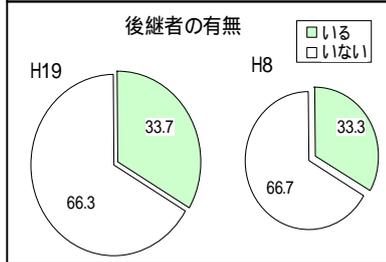
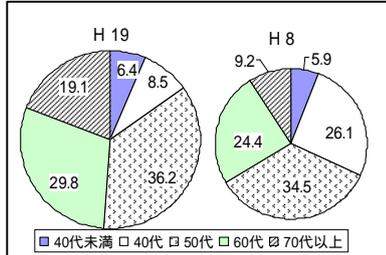
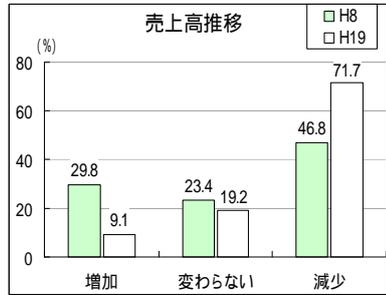
九月に市内中心部商店街の経営者一四一人を対象に、実施し、一〇三の回答、回収率七二・五%であった。

調査内容は、「お店の現状」「後継者対策」の調査をした。同調査は、平成八年に同じ内容で実施している為、比較についての報告である。

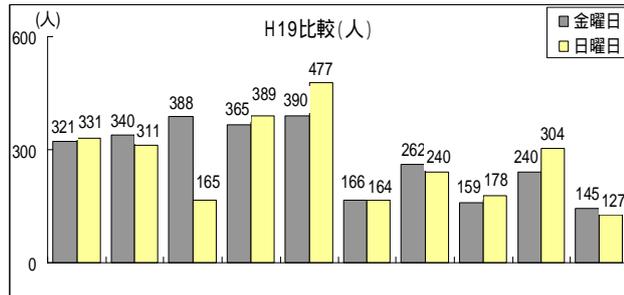
売上高の増減推移

最近三年間の市内各商店街の売上高の現況を見ると、「増加した」及び「やや増加した」が合せて九・二%、「減少した」「やや減少した」が七一・七%となり、経営活力の源泉の一つである「売上高の減少」と意識している経営者が「増加」を大きく上回っている。

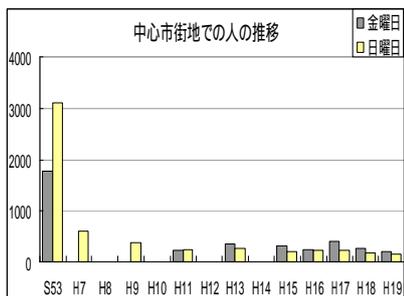
平成八年の調査と比較すると、「増加」が約三分の一に落ち込み、「減少」が約一・五倍に



クリス前 照井印章店前 東陽軒前
 西條付近 (6丁目 西條) 西條付近 (西條北側通) 西條付近 (6丁目つば八)
 西條付近 (7丁目ソトパツク) 西條付近 (西條南側通) 西條付近 (7丁目ソトパツク)
 徳田 (モスバーガー) 徳田 (18線) 徳田 (マルハン)
 徳田 (しまむら 風連 市内) 高速 (市内 風連) 徳田 (しまむら 市内 風連)
 高速 (市内 風連) 高速 (風連 市内) 高速 (風連 市内)



クリス前 照井印章店前 東陽軒前
 西條付近 (6丁目 西條) 西條付近 (西條北側通) 西條付近 (6丁目つば八)
 西條付近 (7丁目ソトパツク) 西條付近 (7丁目ソトパツク) 西條付近 (7丁目ソトパツク)
 名寄駅 (6丁目) 名寄駅 (大通) 名寄駅 (大通)
 名寄市立病院 名寄市立病院 名寄市立病院



「コスト対応」一・二・七%と
 十六・七%「店舗改造」「口
 い。ついで「従業員への教育」
 も多く、平成八年と変化はな
 の検討」が四一・二%と最
 こことする部分で、「取引商品
 経営方針 販売促進
 これから一番力を入れてい
 一つと考えられる。

なり、平成八年と少し変化が
 見られる。しかし、消費者が
 求める「低価格」「商品の種
 類・量の増加」が、平成八年
 度から見ても低水準にある。
 後継者がいない商店が六
 六・三%と大きな割合を占め、
 平成八年と状況が変わって
 ない。「後継者がいる」では、権
 限を委譲」「部分的委譲」が八
 四・八%と明るい兆しが見ら
 れるが、平成八年と同じ状況
 であることが懸念される。「後
 継者がいない」では、「不明」
 八七・一%と平成八年より約
 一〇%増加しており、後継者
 育成の難しさが見受けられ、
 今後の商店街存続についても
 大きな重要課題の一つと考え
 られる。

平成19年12月18日
 (6) 増えている。ここ十年間に郊
 外への大型店出店などがあり、
 商店街の盛衰に大きな影響を
 与えたと考えられる。
 経営者の年齢
 「七十代以上」「六十代」の経
 営者が四八・九%に対し「四
 十代」「四十代未満」の経営者
 が一四・九%と経営者の高齢
 化がすすむ中、後継者対策・
 若手経営者育成などが、商店
 街存続のためにも今後の課題
 の一つと考えられる。

後継者がいない商店が六
 六・三%と大きな割合を占め、
 平成八年と状況が変わって
 ない。「後継者がいる」では、権
 限を委譲」「部分的委譲」が八
 四・八%と明るい兆しが見ら
 れるが、平成八年と同じ状況
 であることが懸念される。「後
 継者がいない」では、「不明」
 八七・一%と平成八年より約
 一〇%増加しており、後継者
 育成の難しさが見受けられ、
 今後の商店街存続についても
 大きな重要課題の一つと考え
 られる。

交通量調査

市内中心部の 交通量・歩行者激減

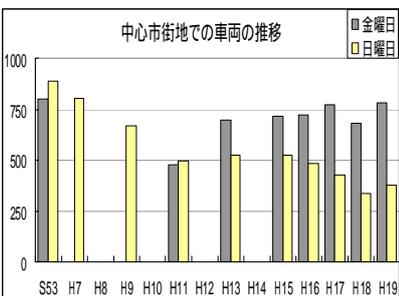
九月二十八日(金)・三十日(日)
 の二日間十三時〜十八時まで
 車両十四箇所、歩行者十箇所
 で調査を実施した。金曜・日
 曜の比較と市内中心部の平
 日・休日の推移報告である。

車両(金曜・日曜日比較)
 市内中心部 ー では、日
 曜に大幅な減少が見られ、特
 に ー では銀行の影響が考えら

れる。西條付近 ー では、
 ー 日曜の減少が目立ち市立
 病院への通院者の影響が考え
 られる。郊外では、特に
 ー 日曜の増加が見られる。
 人(金曜・日曜日比較)
 市内中心部 ー では、特
 に ー で大幅な減少が見られ銀
 行の影響が考えられる。西條
 付近 ー では、 ー の西條
 隣接道路で増加が見られ、日
 曜の西條利用者が多いと思わ
 れる。 ー では、日曜の利用
 者が多くJR・道北バスの利
 用者が日曜に多いと考えられ
 る。 ー では平日一日約千人

に ー では銀行の影響が考えら
 れる。 ー では、日曜の利用
 者が多くJR・道北バスの利
 用者が日曜に多いと考えられ
 る。 ー では平日一日約千人

の利用がある市立病院を考え
 ると大きな変化はなく、車に
 よる利用が多いと考えられる。
 中心部の車両・人の推移
 車両では、平日に変化はな
 いが、休日は年々減少してい
 ることがわかる。 ー 人では、
 平日・休日共に昭和五三年に
 比べ九割の減少が見られ、近
 年の調査でも減少の傾向であ
 り、今後中心部へ人が集まる
 対策が必要である。



『コープさっぽろ』駅横に出店を計画

去る十一月二十七日、コープさっぽろ開発担当者が名寄市と名寄商工会議所を訪れ、名寄駅横地区（東一条南八丁目）への出店計画を明らかにした。JR名寄駅横広場で、店舗面積約四千二百四十平方メートルで、販売品目は食品・日用雑貨・薬・酒・米などを予定しており、平成二十一年度オープン予定。建設予定地は、名寄市土地開発公社とJRが所有しており、また、今回の出店計画は中心市街地への出店ということでは法的規制を受けませんが、昨年十二月に策定された名寄市総合計画には現地への複合交流施設建設の計画があります。今後の中心市街地活性化基本計画策定に向けて議論されませんが、まちづくりの観点

からこの出店計画について名寄商工会議所会員の皆様方のご意見をお伺いしたいと思えます。明年春には徳田地区へのポスフル開店が間近に迫っている時期でもあります。どうぞ、皆様の率直なご意見をお寄せ下さい。

名寄市大型店出店問題 対策協議会解散

今年の一月三十日に設立した名寄市大型店出店問題対策協議会が去る十二月三日をもって解散となりました。この協議会は一万平方米以上の大型店の出店を規制する改正まちづくり三法の趣旨に沿って、大型店の出店自粛を求めるなどの反対運動を行ってきま

総会では木賀会長が「ポスフル出店で商店街にどのような影響を与えるかについては容易ではないが、中心市街地活性化のために奔走しなければならぬ」とあいさつ後、事業報告、収支決算書を承認し、剰余金については中心市街

地活性化の取り組みに引き継ぐことになりました。その他にコープさっぽろが名寄駅南へ出店を検討していることが明らかされました。この土地は名寄市の第三セクターが所有しており、計画では、約四千二百四十平

方メートルで時期は二十一年度を目指しています。名寄市大型店出店問題対策協議会の収支決算書については左の図の通りです。

名寄市大型店出店問題対策協議会 決算書

自 平成19年 1月 1日
至 平成19年 12月 2日

| 科目 | 決算額 | 予算額 | 対比増減額 | 備考 |
|-------|---------|---------|---------|---|
| 負担金収入 | 900,000 | 600,000 | 300,000 | 名寄商工会議所 300,000 風連商工会 100,000 名寄市商店街連合会 500,000 |
| 雑収入 | 104 | | 104 | 預金利息 |
| 合計 | 900,104 | 600,000 | 300,104 | |

| 科目 | 決算額 | 予算額 | 対比増減額 | 備考 |
|-------|---------|---------|---------|---|
| 事業費 | 751,420 | 500,000 | 251,420 | 事業活動費 252,672 設立総会経費 (16,350) 総決起大会経費 159,127 会議費 (22,195) 資料費 (55,000) 要請・要望等活動費 159,390 広報活動費 339,358 チラシ印刷代 (94,500) チラシ折込代 (30,608) 新聞広告代 214,250 |
| 事務費 | 71,847 | 100,000 | 28,153 | 事務費 22,000 通信費 16,679 消耗品費 33,168 |
| 支出合計 | 823,267 | 600,000 | 223,267 | |
| 収支剰余金 | 76,837 | | 76,837 | |
| 合計 | 900,104 | 600,000 | 300,104 | |

貸借対照表

| 借方 | | 貸方 | |
|----|--------|-----|--------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 預金 | 73,646 | 繰越金 | 76,837 |
| 現金 | 3,191 | | |
| 合計 | 76,837 | 合計 | 76,837 |

人事異動のお知らせ

嘱託職員



川上 浩二

十二月十日
付て採用。
よろしくお
願ひします。



菅野 昭男

退職

八月まで
付て退職。
お長し日
おはよう。
ご挨拶。
たごあいさ
ざり間様。

アクサ生命保険 推進員



村上 忠義

アクサ生命の推
進員です。
皆様の事業所に
伺うこともあり
ますがよろしく
お願いいたします。



高橋 容代

第55回優良従業員表彰式 新春特別講演会 新年交礼会

日時 平成20年1月18日(金) 16:30～
会場 グランドホテル藤花 2F
内容

表彰式 16:30～17:30

講演会 17:30～19:00

演題 『我が国の安全保障と自衛隊』

講師 日本生命 特別顧問
防衛省顧問・前統合幕僚長

まさき はじめ
先崎 一 氏

どなたでも聴講できますが、整理券を下記にてお求めください。

名寄商工会議所・グランドホテル藤花
グランドホテルメ・プル
北星信用金庫本店・支店(市内)

交礼会 19:00～20:30
会券は当所でお求めください。
1名 4,000円

マル経 金利情報
12月18日現在
2.0%

なよろ全市連合大売出し
大爆笑ライブ
好評開催中! ご招待!
お買物500円毎に交換シール1枚!
交換シール60枚で
先着8,200名様(昼の部・夜の部)
又は500円の地域通貨券

【交換方法】
「なよろ全市連合大売出し」参加店でもらえる「交換シール」60枚をこの台紙などにしっかりと貼り、交換場所へお持ち下さい。

【交換内容】
「交換シール」60枚で、
・各名様の「招待券(昼の部・夜の部どちらか)」
・又は、500円の地域通貨券1枚と交換できます。
小学生以上の入場には、招待券が必要です。

【交換期間】
平成19年 12月31日(月)まで
平成20年 1月31日(木)まで

※招待券が無くなった場合、以後の交換は地域通貨券のみとなります。
※但し下記の日時には交換できませんのでご了承ください。
[平成20年1月1日(火)～6日(日)及び1月の土・日曜日、祝日]

【交換場所】 名寄商工会議所・風連商工会

【大爆笑ライブ】
とき 平成20年2月11日(月)
風の部 開場/12:30 開演/13:00
夜の部 開場/16:30 開演/17:00
とこ 名寄スポーツセンター [名寄市西7南12]
出演者 おぎやはぎ、ヒロシ、東京03 他全6組出演
主催 なよろ全市連合大売出し実行委員会

ヒロシ
いーりー
せくらんぼ7-ピー
東京03
インスタントジョンソン
おぎやはぎ

大売出し開催中